



あんないっしょいっしょいっしょ

HOME PLANET

写真 4
17/27 愛南町の最果てで夢を叫ぶ

内海中学校で毎年恒例となっている校外学習「地域巡り事業」が実施されました。

今年と同校の1～3年生33名が参加し、由良半島の先端にある旧日本軍の軍事施設「由良衛所」を訪れて戦争時代の発電室、砲台跡や兵舎跡などを見学しながら地域の歴史について学習しました。また、生徒たちは、終戦後に爆破されそのままの姿を残す聴音室の上に立ち、「自分の夢を叫ぼう」と題した企画で、彼方に見える九州に向かってそれぞれの夢を大声で叫びました。



写真 5 写真 6
17/16,17 愛南町の
～癒しのへんろ道を歩こう～

癒しの里 四国のへんろ道を歩く「トレッキング・ザ・空海あいなん」が開催されました。

1日目の『松尾坂へんろ道を歩こう』は、宿毛市野球場から松尾峠を越えて一本松山村開発センターをめざす松尾越えコース(10km)など3コースで実施され、2日目の『柏坂へんろ道を歩こう』では、DE・あ・い・21から嵐坂ポケットパーク風園(宇和島市津島町)までを歩く柏坂コース(13km)で行われました。2日目に予定されていた本町出身の俳人夏井いつきさんの「句会ライブ」は小雨のため中止になりましたが、両日とも、各所に設けられた接待所で飴や焼き芋、みかんなど、地元住民の方々の笑顔あふれる「お接待」を受けながら、大勢の参加者は楽しく山歩きを堪能しました。

本日!海日和!! vol.38 「馬頭鯛」



年男ならぬ年魚

海の中にはウマズラハギやオオウミウマなど、馬にちなんだ名を持つ魚が多くいる。今回は、「おめでタイ」でもあるマトウダイを紹介したい。

漢字で馬頭鯛と書くように、鼻先が長く馬に似た顔つきをしている。体にある丸い模様から、的鯛(まとだい)とか、紋鯛(もんだい)とか呼ぶ地域もある。夏は深い場所に住ん

でいるようであり見かけないが、寒くなると浅場にも現れるようになる。ダイバーが会うことができるのも今の季節である。

口は大きくせり出し、小魚を丸飲みにしてしまうが、このときの顔はさらに馬づらになる。

以前、料理をしているときにマトウダイの胃袋からアジが丸まま出てきたことがある。アジも新鮮そのものだったので、一緒に煮付けて両方ともおいしくいただいた。一匹で二つの味を楽しめるとは、やはりおめでたい魚であった。

(写真:マトウダイ 撮影地:瀬の浜)

愛南サンゴを守る会 西尾知照 ともてる



写真 1
11「シルバーの日」
清掃奉仕活動

特別養護老人ホーム城辺みしま荘周辺で、町シルバー人材センターの会員による清掃奉仕活動が行われました。

この活動は10月第3土曜日の「シルバーの日」を記念して毎年行われています。今年は雨天のため順延となりましたが、会員21名が参加して草刈り、草引き作業や落ち葉清掃など2時間にわたり熱心に作業が行われ、施設周辺はすっかりきれいになりました。

写真 2
11/18 菊川地区で
コスモス祭り

昨年初めて開催された「菊川地区コスモス祭り」が今年も開催されました。

9月初旬に菊川小学校全児童13名が丁寧に播種した2反5畝程の田んぼが会場で、一面にコスモスが咲き誇るなか、来場者は、菊川環境保全推進会(尾上武司会長)が腕を振るって調理したシシ汁を堪能したり、餅まきに参加したりするなど、コスモス祭りを楽しみました。

写真 3
11/20 伝統を受け継ぐ
勇ましい舞

正木地区に伝わる古式ゆかしい伝統の舞「正木花とり踊り」(県指定無形民俗文化財)が、正木権現堂、歓喜光寺境内、旧庄屋蕨岡家の庭の3か所で披露されました。

踊り手の代表2人が篠川で身を清めた後、大勢の観客が見守るなか、鉦や太鼓のリズムに合わせて「エイ、ヤー」と刀や鎌を振るって舞いました。